

## 只木ゼミ前期第3問検察反対尋問レジュメ

文責：2班

- 5 1. 弁護レジュメ 1 頁 19 行目にて「考慮要素が相対化されてしまい、恣意的な判断がなされてしまう可能性がある」とあるがその根拠は何か。
- また、2 頁 9 行目にて「積極的加害意思等を考慮し」とあるがこれは様々な要素を考慮することとはならないのか。
- 10 2. 弁護レジュメ 1 頁 30 行目にて e 説を検討する際に「全体として因果性を強く有しているかどうかを検討し、一連の行為といえるかどうか」を重視しているが、なぜ d 説を選択する際に同様の基準を重視しないのか。
3. 弁護レジュメ 2 頁脚注 4 及び 5 で挙げられた判例は、いずれも侵害の予期と急迫性の関係について論じているが、これらの判例と自招侵害の問題をどのように関連付けているのか。

以上